

【単元シート】

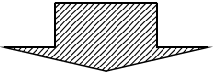
単元	伊勢物語「梓弓」
----	----------

配当時間（ 3 ）時間

生徒の実態 古文の口語訳や文法事項についてはある程度できるようになっている。しかし、和歌の解釈や登場人物の心情を考えたりすることに苦手意識を感じている。	次	「あらたまの」の和歌を詠むまで	「男帰りにけり。」まで	最後まで
	目標	「あらたまの」の和歌を詠むに至るまでの状況を把握し、和歌に込められた女の心情を推測する。	「梓弓ま弓つき弓」と「梓弓引けど引かねど」の和歌に込められた女と夫の心情を読み取る。	「梓弓」の章段のテーマをつかむ。
	学習内容	○和歌を詠むに至るまでの状況を把握する。 ○和歌に詠まれた、女の心情を把握する。 配当時間（ 1 ）時間	○「梓弓ま弓つき弓」の歌に詠まれた夫の心情を読み取る。 ○「梓弓引けど引かねど」の和歌に込められた女の心情を読み取る。 配当時間（ 1 ）時間	○男が帰っていった後の、女の行動をつかむ。 ○「あひ思はで」の和歌に込められた女の心情を読み取る。 ○「梓弓」の章段のテーマをつかむ 配当時間（ 1 ）時間
	手だて（全体・A層・C層）	○あらかじめ登場人物を挙げさせておく。 ○動作の主体を確実におさえておく。 ○「ねんごろなり」「あふ」の語句の意味を辞書や単語帳で確認させる。	○動作の主体を確実におさえておく。 ○「妻に対する恨み」「妻に対する皮肉」「妻に対する失望」という考えが出てくると思われる。この考えを否定せず、「妻の幸せを願い、身を引こうという思い」という考えとともに次時まで課題として残しておく。	○「夫」と「女」の言動に対して、どのように考えるかを自由に書かせることによって、テーマ把握につなげていく。

生徒のゴール像
和歌に込められた登場人物の心情を読み取ることができる。

<p>[手だて・工夫の有効性]</p> <p>①動作の主体を確実におさえる。</p> <p>1 2 3 4</p> <p>②考える時間を十分に確保する。</p> <p>1 2 3 4</p> <p>③自分の考えをノートに記入させる。</p> <p>1 2 3 4</p> <p>④周囲の人と考えを交流させる。</p> <p>1 2 3 4</p> <p>⑤</p> <p>1 2 3 4</p>
<p>次の単元・次年度へ向けての留意点</p> <p>○夫の心情を、「妻に対する恨み」「妻に対する皮肉」「妻に対する失望」と捉える意見が出てきたことで、その意見を自分はどう考えるかという課題が生まれ、生徒が主体的に取り組むことができた。生徒の多様な意見を生かすことが大切であると感じた。</p>

学習の展開（内容と活動）	授業の手だて・工夫（★指導上の留意点）		授業の振り返り	手だての有効性
<p>〔授業目標〕 「あらたまの」の和歌を読むに至るまでの状況把握と、女の心情を推測する。</p> <p>内容1 和歌を詠むに至るまでの概要把握</p> <p>活動1 本文を音読する</p> <p>活動2 「待ちわびたりける」「契りたり」「たたきけれど」「開けで」の主語を確認する</p> <p>活動3 「いとねんごろに言ひける人」とはどのような人か、また、その人に対して、女は、何と言っているのかを考える。</p> <p>活動4 「この男」とは、誰のことを考える。</p> <p>内容2 女の心情把握</p> <p>活動1 女が戸を開けなかったのはなぜか、その理由を想像する。</p> <p>活動2 自分の考えを周囲の人と交流する。</p> <p>活動3 全体で発表する。</p> <p>活動4 「あらたまの」の和歌を口語訳する。</p> <p>まとめ 女は、夫のことをきらいになって戸をあけなかったのか、どうかはこれ以降を読んでいかないとわからないことを伝える。</p>	<p>全 体</p> <p>○あらかじめ登場人物を挙げさせておくことで、主語を捉えやすくする。</p> <p>○「ねんごろなり」「あふ」の語句の意味を確認する。「ねんごろなり」は「心を厚く込める人」とあるのが原義であり、心を込めてどんなことを言っていたのか、「あふ」の意味と併せ考えさせる。</p> <p>◎宮仕えに出て行った夫が、3年待っても戻ってこず、女は、熱心に求婚してきた男に、今晩会いましょうと約束した。ところが、その晩、夫が戻ってくるという状況だとまとめる。</p> <p>○自分よりも適当な答えがあれば、自分の考えを変更してもよいことを伝える。</p> <p>○生徒が考える時間を十分に確保する。</p> <p>○周囲の人と考えを交流することで、より適当な考えを持つことができるようにする。</p> <p>○いろいろな意見があることを確認する。</p> <p>○「ただ」「わぶ」「新枕」の意味を辞書を引いて、確認させる。</p> <p>◎女が混乱していることを押さえさせる。</p>	<p>C 層</p> <p>○登場人物と思われるところに傍線を引くように指示する。</p> <p>○副教材の「古文単語315」を調べさせる。</p> <p>○考えつかない場合は、自分が同じような状況に置かれたらどうするかを考えるように伝える。</p> <p>○和歌を詠んだのは「女」であることを確認する。</p> <p>○「あらたまの」は枕詞であり、訳に出さなくて良いことを伝える。</p>	<p>生徒の学習到達度、気づきなどを記入</p> <p>あらかじめ、登場人物を列挙し、板書しておく生徒は主語を考えやすいようだ。</p> <p>生徒に考えさせる時間を十分に取ったことは有効であった。</p> <p>夫のことをきらいになっただけで、出てきたので、はたしてそうなのかという疑問を生徒は持つことができた。</p>	<p>①考える時間を確保するという工夫</p> <p>1 2 3 4</p> <p>②ノートに記入させるという工夫</p> <p>1 2 3 4</p> <p>③隣の人と答えを確認させるという工夫</p> <p>1 2 3 4</p>  <p>次の授業の改善など</p> <p>考える時間を十分に確保することは、生徒の思考力を養う上で大変有意義であると感じた。時間を確保すれば、生徒も自分なりに深く考えるということを実感した。</p>

学習の展開 (内容と活動)	授業の手だて・工夫 (★指導上の留意点)		授業の振り返り	手だての有効性
<p>〔授業目標〕 「梓弓ま弓つき弓」と「梓弓ひけどひかねど」の和歌に込められた女と夫の心情を読み取る。</p> <p>内容1 「梓弓ま弓つき弓」の歌に詠まれた夫の心情を読み取る。</p> <p>活動1 人物を補って口語訳をし、和歌に込められた男の心情を考え、それぞれノートに記入する。</p> <p>活動2 周囲の人と答えを見せ合い、交流する。</p> <p>活動3 指名された生徒は、自分の考えを発表する。</p> <p>内容2 「梓弓引けど引かねど」の和歌に込められた女の心情を読み取る。</p> <p>活動1 人物を補って口語訳をし、和歌に込められた女の心情を考え、それぞれノートに記入する。</p> <p>活動2 周囲の人と答えを見せ合い、交流する。</p> <p>活動3 指名された生徒は、自分の考えを発表する。</p> <p>活動4 女は、夫が戻ってきた時には、戸を開けないでいたのに、夫が去っていかうとしたときに、このような歌を詠んだのは、どのような心情の変化かを考える。</p> <p>まとめ 女は、夫に対する愛情に変わりがなかったことを再認識したことを確認する。</p>	<p>全 体</p> <p>○「梓弓ま弓つき弓」が「月」を連想し、「年」につながる枕詞であり、「長い年月の間」と訳をして良いことを伝える。</p> <p>○「妻に対する恨み」「妻に対する皮肉」「妻に対する失望」という考えと、「妻の幸せを願い、身を引こうという思い」という二つの考えに集約していき、最終的にはどちらがよいかを考えさせる。</p> <p>○前時で、女が戸を開けなかった理由を考えたが、この和歌を踏まえると、女は、夫のこと嫌いになって戸を開けなかったのではないことをつかませる。</p> <p>○前時で、女の心情を「混乱している」と捉えたが、その混乱からどのような心情に変わったかを押さえさせる。</p>	<p>C 層</p> <p>○「わがせしがごと」が難しいなら「私があなたにしてきたように」という意味になることを教える。</p>	<p>生徒の学習到達度、気づきなどを記入</p> <p>生徒に考えさせる時間を十分に有効であった。和歌に込められた心情を的確に捉えている生徒や、なるほどとうなずかれるようなすばらしい解釈もあった。</p> <p>夫のことをきらいになったのか、どうか、という課題を持ちながら読み進めていたので、生徒もじっくりと考えていた。</p>	<p>①考える時間を確保するという工夫</p> <p>1 2 3 4</p> <p>②ノートに記入させるという工夫</p> <p>1 2 3 4</p> <p>③隣の人と答えを確認させるという工夫</p> <p>1 2 3 4</p> <p>④授業進行の工夫</p> <p>1 2 3 4</p> <p>[参考]</p> <p>1 効果がなかった 2 あまり効果がなかった 3 少し効果があった 4 とても効果があった</p> <p>↓</p> <p>次の授業の改善など</p> <p>ノートに答を書かせることも有効である。ノートに書かせることで、生徒の思考も深まる上に、後で発表する際に、生徒は臆することがなくなるようである。</p>